



「景観」の視点から 「まちづくり」を考える

群馬県都市計画課 景観・都市行政係

1. 「規制」と「誘導」

「市場万能主義」という、伝統的な経済理論に則った「経済哲学」があります。これはおおざっぱに言えば、規制するよりも自由な経済活動を行う方が、何事も万事上手くいくという考え方です。

金融市場も流通市場も、基本的にはこの考え方に沿って20世紀後半から規制緩和を進め、そして自由な競争を奨励してきました。

しかしながら、こと「景観」については、リーマンショックが起こる前から、この「市場万能主義」の考え方が適さない珍しい分野であったかと考えます。ここからは、具体的な話をします。

ちょっと前になりますが、ある有名漫画家の建てた自宅の外壁の色(赤と白の縞模様)が周囲の景観にそぐわないということで周辺住民とトラブルになり、その後訴訟に至るという出来事がありました。自ら所有する建物ですから、どんな色にしようが基本は自由なはずですが、しかしながら訴えた側は、そうした建物が建つことで、周辺住民の「住みやすい環境」が阻害され、結果的に地価の低下などという経済的な損失にもつながると考えたのでしょう。これは建物だけでなく、私たちが日常生活でよく目にする「屋外広告物」も同様で、地域の雰囲気にもそぐわない“どぎつい”色や内容の屋外広告物のことが頭に浮かんだ方もいらっしゃると思いますが、自由な競争に任せていけば、際限のないカオス状態に陥っていくことが予想されます。

したがって、「景観」や「屋外広告物」に関しては、自由競争に任せておくのではなく、ある一定の「規制」もしくは「誘導」が必要になるものと考えられます。

2. 「よい景観」とは何か

そもそも「景観」、そして「よい景観」とはなんでしょうか？景観講演会で3年前よりお世話になっている堀繁教授(東京大学アジア生物資源環境センター長)は、「景観」とは「見ること」であり、そして「よい景観」とは「見たいものが見やすい状態にあること」と定義しました。すなわち、ある特徴的な形の山を持っている地域であればその山が見やすい状態にある、あるいは、ある特徴的な建築物を持っている街であればその建築物が見やすい状態にあることが、地域住民や観光客には望まれるわけであり、それができないと「よい景観」ではなくなるということです。

先に述べた漫画家の、自宅外壁の色問題は、きっとその地域の人たちが誇りに思い、そして他地域の人たちに見せたいきれいな街なみを阻害すると感じてしまうような建物の色だったからこそ、トラブルにつながっていったのだと推測します。

3. 広域景観形成モデル事業

「よい景観」にとって「規制」と「誘導」は必須です。これらを実質的に行うために、国では「景観法」「屋外広告物法」を制定し、また、都道府県や市町村ではより地域に即したきめの細かい「景観条例」や「屋外広告物条例」を制定して、地域住民が誇る「よい景観」を守ろうとしています。

しかしながら、市町村が行う景観の規制や誘導はいわば「面的」なものであり、主要幹線道路においては、市町村境を超えた「線的」なものとして、統一的に規制や誘導をしていかななくてはなりません。すなわち「景観軸」に沿った「広域景観形成」が必要となり、これは広域行政を担う県が、複数の市町村の意見をまとめながら、市町村と一体となって作っていく必要があります。

このような問題意識から、本県では今年度より「広域景観形成モデル事業」に着手しました。これは、吾妻地区への主要幹線道路となる「上信自動車道」と、県北地域の主要観光ルートである「日本ロマンチック街道」を取り上げ、これらの沿道景観や眺望景観、および視点場について統一的な規制と誘導を行っていくとするものです。

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界文化遺産登録以来、多くの観光客でにぎわう本県ですが、観光客に再度の来訪を促すだけでなく、地域の人たちが自らの郷土に誇りを持ち続けるためにも、この「広域景観形成モデル事業」



は必須のものと考えています。

4. 景観講演会にお越しください！

本県では、「景観」や「屋外広告物」についてたくさんの方が関心を持ち、理解を深めてもらうために「景観講演会」を開催しております。今年度は平成26年10月に「景観モデル地区づくりのポイント」と題して、富山大学芸術文化学部の武山良三教授に御講演をいただきました。また同11月には「フランスで進む眼と脚の都市デザインー反walking poorの都市計画へ」と題して首都大学東京の鳥海基樹准教授に、「あかりからのまちづくり」と題してぼんぼり光環境計画(株)代表取締役の角館まさひで氏に御講演をいただきました。

今年1月21日(水)の13:00から、富岡市の富岡商工会議所におきまして、先述の東京大学アジア生物資源環境センターの堀繁教授に「一過性に終わらせない集客のまちづくりと儲かる店づくりー順風時は次の一手の大チャンスー」と題した景観講演会を開催します。(8ページのお知らせに詳細あり。)

皆様にはこの講演会に足を運んでいただくとともに、まちづくりの中での「景観」や「屋外広告物」を考える上で、のきっかけにしていいただければ、主催者として幸いです。



景観講演会(平成26年10月)の様子

景観講演会

— 講師 —

東京大学
アジア生物資源
環境研究センター

教授
ほり しば
堀 繁

— 専門 —
景観デザイン、景観工学、計画設計学、地域計画

— 経歴 —
1993年東京生まれ、東京大学芸術学部卒業、富山大学助教授を経て、平成26年より現職。富山大学工学部教授などを経て、平成26年より現職。富山大学工学部教授などを経て、平成26年より現職。富山大学工学部教授などを経て、平成26年より現職。

— 講演プログラム —

12:30	受付開始
13:00	開会 あいさつ
13:10	富岡市景観賞表彰式
13:30	講演
15:30	質疑応答
15:40	閉会

入場無料

2015年1月21日(水) 13:00開会
富岡商工会議所 3階 ホール

○お越しの際は公共交通機関をご利用ください。
○商工会議所には駐車スペースが限られていますので、お車でのお越しの方は、富岡市役所の北駐車場又は西駐車場、富岡駅南駐車場をご利用ください。

申込み方法:電話又はメール、又は裏面の申込み書に必要事項を記入の上、FAXでお申し込みください。
申込先:事務局 都市計画課 景観・都市行政課
Tel:027-226-3652/Fax:027-221-5566 E-mail: kaku@net.surugik.jp

主催:群馬県都市計画協会・群馬県・富岡市

景観講演会(平成27年1月21日)チラシ



景観講演会(平成26年11月)の様子



まち歩きの様子

